

## 結果発表

## 第3回

## ■団体戦

優勝 伯方高等学校

準優勝 東温高等学校

## ■個人戦 入賞句

## 最優秀賞(1名)

裁判所金魚一匹しかをらず

愛光高等学校

菅波祐太

## 選評:夏井いつき

裁判所という、堅く・重く・直線的なイメージに対して、金魚の、軽やかさ・小ささ・赤い色が印象的。金魚というのは大抵が数匹で飼われるものだけれど、ここには何故か一匹だけ。「来庁者がなごむように」という理由で、何となく飼われはじめたものの、一匹また一匹と死んでしまったのかもしれない。裁判所の一隅に泳ぐ一匹の金魚が切なくもあり、お堅い職場とのギャップがそこはかたなく可笑しくもある。

## &lt;決勝&gt; 兼題「石(いし)」

東温高等学校			0-3		伯方高等学校		
紅組	選手	俳句	判定	俳句	選手	白組	
先鋒	長廣 弘美	青春の思い出つまる石の段	× 0-3	○ 石好きの家系に生れ夏帽子	小林 華恵	先鋒	
次鋒	中野 さやか	石垣や反射の光色あせて	× 0-3	○ 水軍の石柱の百物語	福田 香奈	次鋒	
中堅	佐伯 直美	思い出の石段染める紅葉かな	× 0-3	○ 石段の折線グラフ秋の蝶	田名後 梓	中堅	
副将	森貞 恵美	虹色に光る魚の石の家		風は秋猫の丸まる石畳	日浦 碧	副将	
大将	森山 恵麻	夏暑し変温動物の小石		明易の先生の石頭かな	大西 暁子	大将	

## &lt;準決勝&gt; 兼題「木(き)」

興陽高等学校			1-3		東温高等学校		
紅組	選手	俳句	判定	俳句	選手	白組	
先鋒	小原 千明	サーカスのチケット握る木下 闇	○ 3-0 ×	空蟬の孤独に耐える木陰かな	長廣 弘美	先鋒	
次鋒	小原 未佳子	木鋏に魂込めて松手入	× 0-3	○ 炎天下とところどころに木の聖地	中野 さやか	次鋒	
中堅	明石 知佳	青葉菟この手で起す干拓地	× 1-2	○ 太陽を目指すいちょうの木と私	佐伯 直美	中堅	
副将	工藤 智子	木下闇一週間の命とす	× 0-3	○ 木の語り暑さ忘れて耳すます	森貞 恵美	副将	
大将	木村 亜紀	木の芽和友は静かに箸を置き		炎天下墨一滴の木陰かな	森山 恵麻	大将	

松山東高等学校A			2-3		伯方高等学校		
紅組	選手	俳句	判定	俳句	選手	白組	
先鋒	神野 紗希	不等式解けず夏木立の中へ	○ 2-1 ×	学校の主の舟虫木の椅子に	福田 香奈	先鋒	
次鋒	安永 愛	大木の幹の起伏を蟻の追ふ	× 1-2	○ 夏木立ち朧に風を放ちけり	小林 華恵	次鋒	
中堅	上田 早苗	木下闇勾玉磨く手を止めて	× 1-2	○ 日盛の木魚三三七拍子	田名後 梓	中堅	
副将	重見 友香	八月の影を離さぬ木のもとへ	○ 3-0 ×	大西日積木の家を積みそこ ね	大西 暁子	副将	
大将	福井 咲久 良	キャンバスを抱えて銀杏並木 行く	× 1-2	○ 待ちぼうけの飴噛みくだく木 下闇	日浦 碧	大将	